

# 土砂災害

前兆現象を察知して  
早めに避難をしましょう。



特に市内山間部には危険箇所が多数あります

## ■土石流

山肌や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などの大量の水と一緒に津波のように襲ってくるものを「土石流」といいます。土石流の速さは、時速20キロメートルから40キロメートルと、自動車なみのスピードです。すさまじい勢いで、あっという間に辺りの樹木や家や畑、工作物を潰して押し流してしまいます。

### ■こんな所が危険！

- 谷川に大きな石がゴロゴロある所。
- 裏山に急な谷川がある所。
- 過去に流出した土石流が、谷の出口付近に堆積してできた扇状地の所。

### ■こんな時は注意が必要！

- 山鳴りがしたり立木の裂ける音、ドーンという音、ゴロゴロという音がする。
- 雨が降り続けているにもかかわらず、川の水が急に減り始める。



## ■地すべり

山地の斜面をつくる岩石や土壌が、少しずつ斜面下方へ移動する現象を「地すべり」といいます。大雨の時や融雪期にはこれが発生しやすくなります。一度に広範囲で発生するため、住宅、道路、鉄道などに大きな被害を及ぼします。

### ■こんな所が危険！

- 地面に段差や亀裂が生じている所。
- 樹木や電柱が傾くなどしている所。

### ■こんな時は注意が必要！

- 地面にひび割れができる。
- 地面の一部が陥没したり、隆起したりする。
- 池や沼の水かさが急に変わる。
- 井戸の水が濁る。



## 土砂災害の種類と特徴

土砂災害は、土石流、がけ崩れ、地すべりといった自然現象により、皆さんの命や財産に影響が及ぶことをいい、地震や雨により発生しやすくなります。

また、近年は増加の傾向にあり、突然発生することから予測は非常に難しく、被害が繰り返し起こり、被害が大きくなるおそれがあります。

土砂災害が発生するおそれのある危険箇所は、市のホームページや新潟県土砂災害警戒情報システムで確認することができます。

## ■がけ崩れ

「がけ崩れ」は、斜面が突然崩れ落ちる現象です。崩れた土砂は、斜面の高さの2～3倍も離れた距離まで届くことがあります。「がけ崩れ」は、地震による揺れや、大雨・長雨により地面に水がしみこんで起きます。

地すべりと違う所は、突然起きること、スピードが速いことです。危険を感じたらすばやく避難することが大切です。

### ■こんな所が危険！

- がけにひび割れが生じている所。
- がけの上部がせり出している所。
- 急ながけで高い所。
- がけから水が湧き出したり、表面を水が流れている所。

### ■こんな時は注意が必要！

- 小石がパラパラ落ちてくる。
- 斜面に割れ目ができる。
- 斜面から水が湧き出す。



## 逃げ方のポイント

土砂災害は前兆現象が発生することがありますので、前兆現象を確認したときには早めの避難を心がけましょう。

また、土石流は速度が速いため、土砂の流れと同じ方向へ逃げてしまうと、土砂に飲み込まれてしまう危険があります。

もしも土石流に遭遇した場合には、右の図のように、土砂の流れる方向に対して、直角の方向へ逃げるようにしましょう。



### ■避難の余裕がないときは、命を守るための最低限の行動を！

避難がかえって危険を伴う場合等やむを得ないときは、建物の2階以上の、斜面とは反対に位置する部屋に避難しましょう。



## 土砂災害警戒情報について

大雨による土砂災害発生のおそれが高まった時、避難指示等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報です。天気予報などで「過去数年間で最も土砂災害の危険性が高まっている」などと言われた場合には、雨の降り方や土砂災害の前兆現象に注意し、早めの避難を心がけましょう。



## 避難に関する情報の発令基準

市は、土砂災害警戒情報の発表状況に応じて避難に関する情報を発令します。いざというときすぐに避難できるよう、心構えをしておきましょう。

警戒レベル	情報の種類	発令基準
警戒レベル4 氾濫危険水位に相当 土砂災害警戒情報に相当	避難指示 (危険な場所から 全員避難)	・土砂災害警戒情報が発表された場合 ・土砂災害の前兆現象(湧水、地下水の濁り、溪流の水量の変化等)が発見された場合
警戒レベル3 避難判断水位に相当 大雨・洪水警報に相当	高齢者等避難 (危険な場所から 高齢者等避難)	・土砂災害前ぶれ注意情報が発表された場合

土砂は一気に襲ってきます。早めの避難を！